

Saiin

健康な住まいと
暮らしのサイン
2021 Autumn

70

時は満ちて約束の秋



COVER STORY



「時を超える価値のある暮らし」というテーマでお届けしている『SAiN』。おかげさまで70号を迎えた2021年秋号の表紙は、秋の旬食材「にんじん」と、よく使い込まれたハンガリーのCuttingボードです。カットした跡や焦げ目が残るCuttingボードは、遠い昔の異国で暮らしていた生活者の確かな営みを、今に伝えてくれています。実りの季節は、来たるべき冬に備える季節でもあります。つづくコロナ禍にあっても、日常のささやかな楽しみを忘れることなく、どうぞ心も体も健やかな日々をお過ごしいただけますように。

『SAiN』のお申し込みなどはWEBサイトで。
<https://www.e-kaiken.com/sain/>
 ©KAIKEN CORPORATION

【はじめのSAiN】

土の話

◎自然界の四元素といわれる「空気・土・火・水」のこと

Vol.2

生まれたばかりの地球は、熱くどろどろしたマグマでした。長い年月をかけてマグマはだんだん冷やされて岩石になり、太陽光や雨風で風化して砂に変わっていきます。砂は鉱物で構成されていますが、砂にバクテリアやコケ類などが付き、さらに枯れた植物や死んだ生物の分解作用で有機物と腐植物がたまっていきます。その後、水や空気などの作用で鉱物と有機物の複雑な混合物が生まれます。「土」の誕生です。

中国黄河流域の黄色い土、アフリカの大地を覆う赤い土など、土の色は成分で変わり、泥炭土、ポドゾル、永久凍土、砂漠土、強風化赤黄色土、黒ボク土など、地球は12種類の土から成り立っているといわれています。土は洪水を防ぎ、水をろ過し、植物の養分となり、食物を育てくれます。「風土」という言葉があるように、私たちの土地柄や文化に深く根ざしている、土。その手ざわりを、忘れないようにしておきたいですね。

サイン二〇二一年秋号をお届けいたします
 おかげさまで70号ありがとうございます
 第一号を発行してから十七年の歳月が過ぎたことになりましたが、昨今のコロナ禍は思ってもいなかった状況です
 不確かな未来に向けてであれ思いやりの気持ちを忘れずこれからも一歩一歩すすんでいこうと思えます

09	05	03	01
四季めぐる空気がうまい家	豊後高田の庭宅	自然を感じ、自然に学び、自然を楽しむ暮らし	はじめのSAiN
17	16	15	14
こだわりプレゼント	健康自然建材	住まいと健康のいい関係	秋の旬食材にんじん
編集はのぼの後記		「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？	

自然を感じ、自然に学び、自然を楽しむ暮らし

2004年6月の発行以来、おかげさまで『SAiN』は70号を迎えることができました。ご愛読いただいていたみなさまと、配布にご協力いただいた全国工務店の方々に感謝いたします。暮らしのこと、食のこと、住まいのこと。SAiNはこれからも、自然と一緒に育むかけがえのないものをお届けしていきます。

SAiN
SINCE 70 2004
ANNIVERSARY



心地よく暮らす

SAiNでは、自然の命が生きている素材から生まれたお住まいと、ご家族の暮らしをご紹介します。サーフィンが趣味で自然感にあふれる家を探されていたご夫婦、お子様のアトピーに悩まれていたご家族、音響熟成木材に一目惚れされた大工さん：理由はさまざまですが、「この家に出会って本当によかった」と、みなさんがおっしゃいます。紙面では、香りや感触をお伝えできませんが、お施主様の言葉と暮らしのスタイルを通して、その心地良さを感じていただければと思います。



旬を愛でる

自然素材の家で暮らしていると、季節の変化に敏感になったり、旬が気になったりされる方が多いようです。「医食同源」という言葉があるように、日頃の食事は病気を防いだり治したりする薬のようなものでもあります。旬のものを美味しく食べて体調をととのえていただくとともに、春夏秋冬、それぞれの季節の暮らしを楽しんでいただければと思います。



自然というギフト

よくよく考えてみると、すべてのものの根源は、自然から与えられたギフトです。私たちも自然の一部ですから、みんなで心地よく生きていくためには、物質的・機械的なモノサシばかりを使うのではなく、精神的・生物的な心と体の「サイン」を大切にしていきたいと思っています。自然の中で感じるシンプルな幸せを、みなさまにもっとお伝えできますように。



家と庭のいい関係

「庭／garden」の語源は、ヘブライ語の「gan(囲まれた)」と「eden(楽園)」に由来するそうです。私たちが庭に木や花を植えるのは、そのお宅ならではの楽園をつくらうとしているのかもしれないね。さまざまな庭の楽しみ方も、SAiNが大切にしていきたいことのひとつです。



SAiN 本棚

SAiNのバックナンバーをご覧ください▶



ATELIER Park

in Bungotakada Oita



駐車スペースとしても活用できるほどの広さがとられた玄関前の軒下空間。テーブルを出しての食事や友人を招いてのバーベキューなど、住まいと庭をつなぐ「第3の空間」として、多様な使い方ができそうです。

住まいへのアプローチは、公園の中を散策するような感覚が心を弾ませてくれます。朝のさわやかさ、昼のあざやかさ、夕べのうつろい、夜の静けさ…散歩が趣味になりそうですね。屋外に便利なキッチンスペースも設けられています。



Atelier Park with The Natural Garden

公園のような

庭の緑に

つつまれて暮らす

豊後高田の庭宅

空気がうまい家 全国体感録

音響熟成木材・幻の漆喰・清活量を使用した家族にやさしい「空気がうまい家」。全国に広がるその魅力をご紹介します。

大分県 T様のお住まい

「アトリエパーク」と名づけられた大分県豊後高田市のT様邸。

そこは、公園のような広い庭と住まいとのつながりを大切に設計された、緑にまつまれて暮らすような感覚を味わうことができる「庭宅」です。



まさにプライベートな公園の中にあるようなT様邸(写真右端)。パーゴラが設けられたアプローチは、植物たちが生き茂れば素敵な緑廊となって暮らしの楽しさを高めてくれそうですね(写真左端)。



T様邸の広々とした公園のような庭は、確かにご家族にとっての楽園のように感じられます。

「うちの庭は、地上の楽園よ！」
 アメリカの絵本作家であり、名高いガーデナーでもあったターシャ・テューダーさんの言葉です。
 樹木が生み出す優しい木漏れ日、葉を揺らし子どもたちの髪をなびかせる風、青々とした芝生のやわらかな感触、訪れる小鳥たちのさえずり、足元で多彩な色で咲く花々…

元気に遊びまわる子どもたちが大人になる頃、T様の家と庭は、その味わいをますます深めているはずです。

家の中においても、全面の窓によって日々の天気や四季折々で表情を変える美しい景色との一体感が生まれ、自然にいだかれて暮らしている充足感が心と体に安らぎを与えてくれます。
 家と庭、暮らしと自然の関わりが身近かなものであるほど、心は穏やかに、体は健やかでたくましく、過ごしていけるのだらうと思います。



全面の窓からたっぷり光が入り、庭の四季を楽しめる贅沢な住空間。窓を開けて緑側風のウッドデッキでくつろぐのも気持ちがいい時間です。レコードや絵画、ソファや照明器具など、T様お気に入りのアイテムが空間をより魅力的にしています。



L字型の木製テーブルが機能的なワークスペースは、窓の向こうの豊かな自然がクリエイティブなアイデアを広げてくれそうです(写真上)。デスクワークに疲れたら、庭を散歩したり、薪を割ったり、レコードを聴いたりして、気分転換できますね。



庭の草花に水をあげて
 心もうるおす暮らし



Atelier Park
 with The
 Natural Garden



ATELIER
 Park

専門家じゃない人が考えた

持続可能な暮らし

Grandfather's Sustainable Life



先人の知恵の天日干し、「はざかけ」。
地方によって若干呼び名は異なるようですが、日本の原風景のひとつです。
土のぬくもり、収穫のよろこびは、子どもたちにも伝えていきたいですね。



灰と卵の殻を大切にしていた

地域性なのか、時代の影響もあったのか分かりませんが、祖父の家の縁側の下には、十羽ほどの鶏が生活をしていました。

卵が必要な時には、縁側の板をめくれば、美味しい卵が食べられました。今、思うと相当贅沢なものを当たり前の様に食べていたんだなあ…と感じます。そして、割った卵の殻は、所定の入れ物に必ず入れる様に言われました。

また、藁や木を燃やした灰も捨てることなく、几帳面に集めて、卵の殻と一緒に畑にまいていたのです。灰は適度なアルカリ性で、卵の殻は、野菜に必要なカルシウムを補う役割をしていたことが、後になってやっと理解できたのです。

さらに、祖父の畑には、たくさんのシマミズがいました。

「ミズもいい仕事をしてくれるから助かるわ。」

こんなことをよく言っていました。私は、魚釣りの餌がたっぷりある便利な畑というくらい理解しかしていませんでした。

今になって、祖父の畑の様子を思い出すと、見事に循環し、持続どころかどんどん質の高い畑になっていたことが分かりました。縁側の下で暮らしていた鶏の側面だけを見ても、見事な循環が生まれていたことが分かります。

レジ袋が有料化になって、EV(電気自動車)も随分身近になってきました。

そして、いろいろなところで、「環境に優しい」とか「持続可能な社会」という言葉を聞く機会が増えてきました。

なんだか、新鮮な取り組みの様に聞こえるけれど、不思議と懐かしさも感じるのは私だけでしょうか。

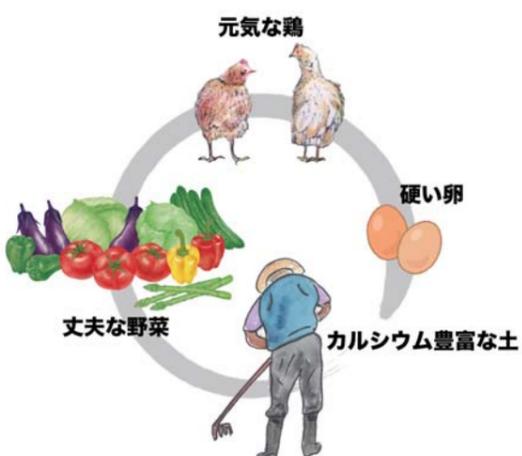
「大雨が続いて、この夏は涼しいと思ったけれど、やっぱり暑いなあ。」

「もう九月だと言うのになあ。暑いわ。」

こんな会話を近所の方としていた時期に、家庭菜園の冬野菜の準備は始まります。先日、土を掘り起こして、当たり前の様に石灰をまいたのですが、ふと、

「そう言えば、祖父が石灰をまいているのを見たことがなかったなあ。」

山奥に住み、川で野菜を洗い、自宅には湧き水を引いて生活していた祖父は、なぜ、石灰をまかなかったのでしょうか。こうした暮らしの中に、きっと「持続可能な社会」のヒントが詰まっているような気がします。



Grandfather's Sustainable Life

もちろん、祖父は、「循環型の社会が大切だ」なんて考えた事もなかったと思います。ただ、身の周りにあるものも、できるだけ有効に使おうとし、自然がその期待にしっかりと応えてくれていたのだと思います。

答えはすぐ近くに転がっているかも

最近では、環境に優しいと言われる省エネの家電・ソーラーパネルや蓄電池、EVなど、優れたものが続々と出てきています。けれど、新しいものが出現すると同時に、私たちは廃棄の問題にも直面します。

例えば、ソーラーパネルやEVのバッテリーもどの様に廃棄するのが、大きな課題だと言われています。この様な課題を改めて見ると、現代の素晴らしい技術でもってしても難しいことを、自然は当たり前のように繰り返して来たことに気付かされます。

施主様からの特別寄稿
四季めぐる
空気がうまい家
文◎渋谷浩一郎様

京都府宇治市で空気がうまい家にお住まいの渋谷様ご家族。四季めぐるその暮らしを、施主様ならではのエッセイにてお届けいたします。

家庭菜園でも石灰をまくのは土が酸性に傾くのを防ぐため

野菜づくり・家庭菜園の本を読むと、土作りをする時に「石灰をまく」と書かれています。理由は、

- ・最近の雨自体が酸性傾向にある
 - ・化学肥料に酸性のものが多く
- ためだそうです。

以前、雨水にBTB水溶液を加えると黄色になったので、雨は酸性に傾いていると確かに言えます。そんな雨にさらされるので、土が酸性に傾きやすいというのは十分に納得です。それを中和させるのに、アルカリ性の石灰が必要だということです。

こうした性質があるのであれば、石灰をまくことは必須の様に思うのですが、祖父は、なぜ、石灰をまかなかったのでしょうか。



昔、灰と卵の殻。今、石灰。

それにしても、科学の専門家でもない祖父は、なぜ、現代の私たちが難しいと感じることを当たり前のようにできたのか？

本当の答えは分かりませんが、常に鶏の声を聞き、風を感じながら刈り取った稲をハザ架けするタイミングを見極める様なことをしていたために、灰や卵の殻、鶏糞などの有用性を「なんとなく」分かっていたのだろうと思います。

現代では、意識をしないと土にさえ触れることも難しくなってきましたが、時々、自然そのものに触れて、「なんとなく」をたくさん感じる事が大切だと思います。

平安時代の身分の高かった女性は、感情を読み取られない様に眉を額の上の方に描いたと言われています。これを反対側の視点から見ると、わずかな眉の動きでも、多くのことを人は読み取る力をもっていただけです。

現代はいろいろな事が数値で表現され、数値がかなりの説得力をもっている様に感じられますが、数値がなくても「なんとなく」を信じて大丈夫ということとは、自然が教えてくれる様に思います。

See you next time!

季節を味わう

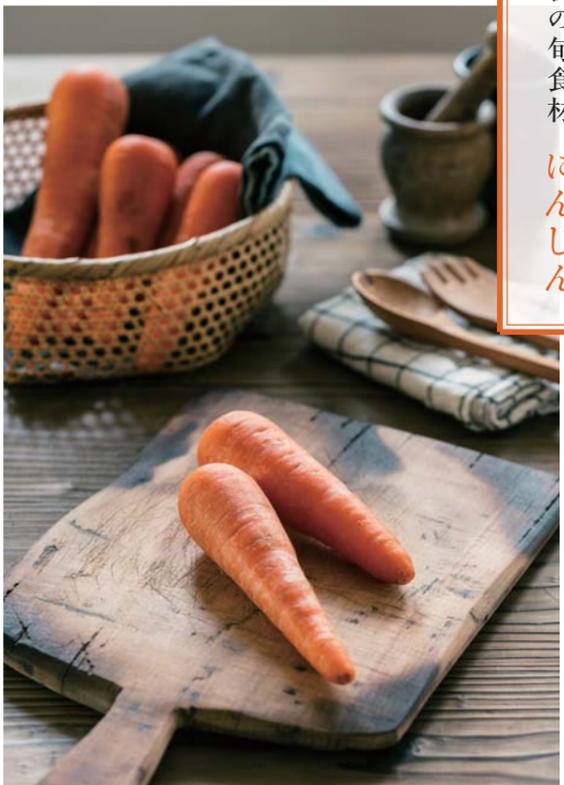
おもやの

食卓

なんでもいつでも揃う
いまこの時代に、
あらためて「旬」のものを
見直してみたいと思います。
旬のものは、体にいいし、
なんといっても、
みんなでおいしく
いただけますから。



秋の旬食材 にんじん



にんじん(carrot)は、カロ
テン(carotene)という名前

の由来にもなっているくらい、たく
さんのカロテンが含まれています。
まさに、ベータカロテンの女王様!

特に、「皮」に栄養がぎゅっと詰
まっていると言われています。

毎日、皮ごとのにんじんとリンゴ
のミックスジュースを絞って飲むと

病気知らずになれる、と言われるほ
どの栄養の持ち主です。

喉や肺など呼吸器系統を守る働き
があると言われてるので、今の時
期に積極的に摂りたい野菜の一つ。

油との相性がよく、油と共に焼い
たり炒めたりして摂取することで、
ビタミンAの効果が増すそうです。

色あざやかな秋をまるかじり

見た目のインパクト大!
食べてみるとホクホク絶品!
今回は、そんなシンプルで贅沢な
秋のにんじんの美味しさをダイレク
トに楽しむ一品をご紹介します。

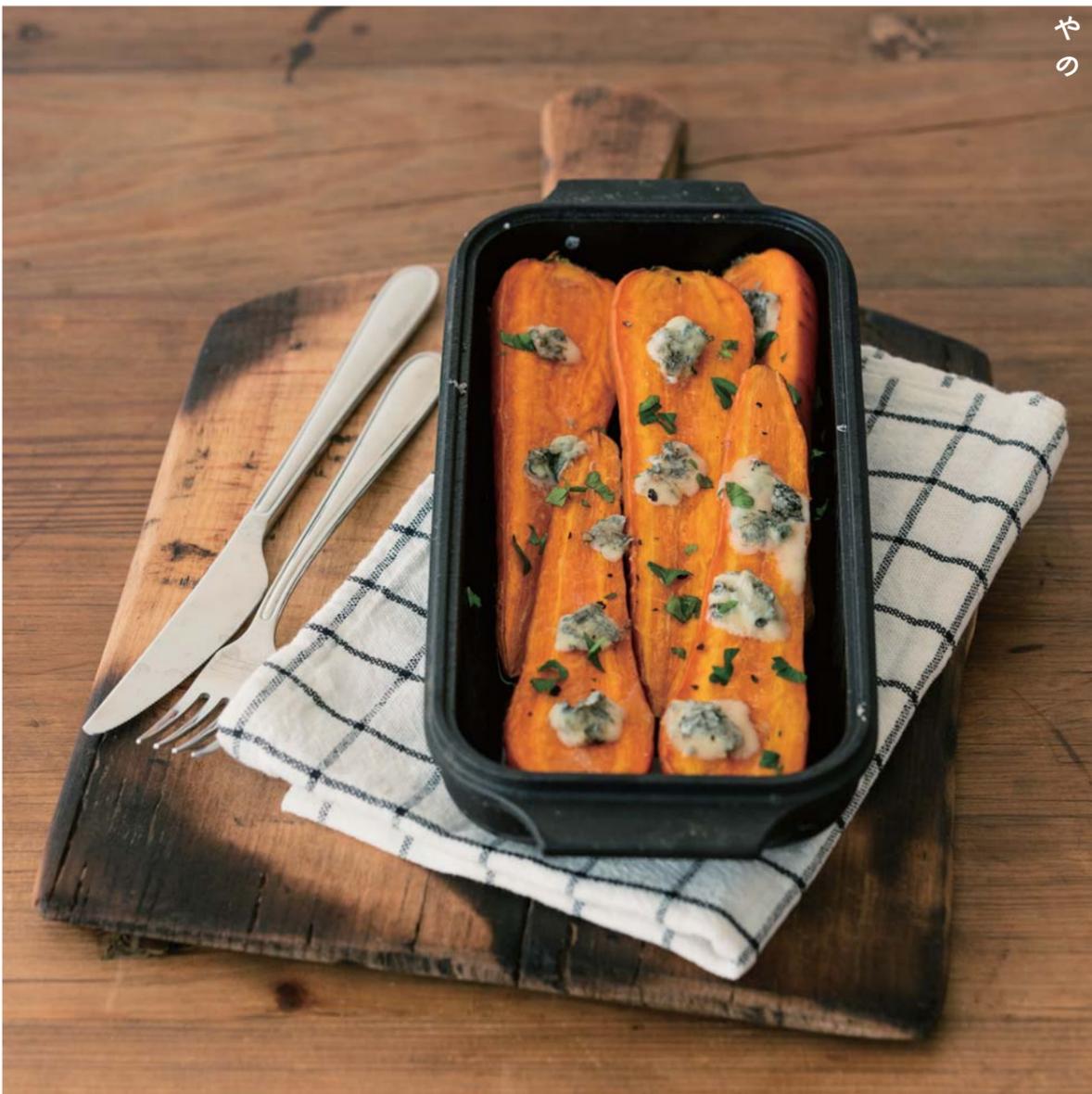
ゴルゴンゾーラチーズを使いま
す
が、苦手な方はお好みのチーズで代用
して色々試してみてくださいね。
これからのシーズン、ダッチオー
ブンやスキレット(铸铁製のフライ

パン)を上下合わせてみたりして、フ
タ側にも炭をのせつつ焼けば、アウ
トドア料理でも活躍してくれる一品
になります。

文と料理はやみずときこ
東京造形大学卒業後、デザイン会社勤務を経て2011
年鹿児島に移住後、2013年フードスタイリストと
して独立。雑誌、広告の仕事の傍ら鹿児島市に chipe
-salon of foodies- という名のアトリエで料理教室な
どを開催している。



🍴 Cooking example



あざやかな色が目にも美味しいまるごとにんじん。ホクホクの食感に爽やかな秋の喜びが広がります。

負けないにんじん

「にんじん」といえば、赤毛でそばかすいっぱいの少年「にんじん」を主人公とした、フランスの作家ジュール・ルナールが1894年に発表した小説もありますね。舞台にも映画にもアニメにもなっています。中央アジアが原産といわれるにんじんは、細長い東洋系と、太く短い西洋系に分かれ、日本で出回っているにんじんのほとんどは、西洋系なのだそう。にんじん君が理不尽な大人たちに負けなかったように、βカロテンたっぷりのにんじんで、コロナに負けない秋にしたいですね。



にんじんとゴルゴンゾーラの
まるごとオープン焼き
レシピはウェブで紹介しています



www.e-kaiken.com/omoya/

SAIN ESSAY

自然が教えてくれる一期一会

人と人との出会いの尊さを表現する場面
面で用いられることの多い一期一会という言葉。

生涯にたった一度、そういう思いを心に
持ちながら、その時々のお出合いを大切に
にする。そんな想いを表現した素敵な言葉
ですね。

一瞬一瞬を大切に、頭では理解していても、
常に意識しながら行動することは、なかなか
難しいことで、気づけば時間だけがいつの間
にか過ぎていく、なんてことがよくあります。

まずは心に余裕を持つこと、そして無理
をせずほんの少しのきっかけでいいので、

毎日にゆとりが出てくれば、きっと楽しい
発見に出会えるような気がします。

自然の風景も一期一会

古くから茶道には「野点^{のだけ}」という屋外で
お茶を嗜みながら、季節の移ろいやその
時々の風景を楽しむ考え方があったそう
です。

その時の気候や天気、空の色、雲の形、
風の流れ、葉の揺らぎ、色づき、花の開き、
香り、漂う自然の音色・・・その一瞬でし
か切り取れない、儂く、けれど尊いもの。
ふと何かの自然に目をとめた時、そこに

在る風景はその瞬間だけの特別なもの。

あるTV番組を通じてこの価値観に出
会ったおかげで、これまで何気なく目に
していた日常の風景が、何倍にも尊く感
じられるようになりました。

少し距離の遠い特別な存在だった一期
一会。けれど想いの力ひとつで、すぐ隣に、
とても身近にたくさん溢れている存在に
もなります。

皆様の身の回りにも、あなただけが知
る特別な風景がきっとあるはず。日常を豊
かにしてくれる一期一会の瞬間がどうか
たくさん訪れますように。

浦上 日章
Text by
Urakami Nissho

SAiN 読者アンケート ぜひアンケートにお答えいただき、プレゼントご応募ください!

ご愛読いただきありがとうございます。これからも読者の皆様にもますます喜んでいただける情報誌『SAiN』にしていくために、どうぞアンケートにご協力をお願いいたします。お名前・生年月日・性別・ご住所・TEL・職業・『SAiN』裏表紙に記載されている「正規取扱店名」をご記入の上、アンケートにお答えいただき、下記宛先までご応募ください。下のアンケート専用ハガキ・WEBでもご応募できます。

Q1 『SAiN』を知ったきっかけは?

- ①セミナー ②見学会・展示会 ③DM ④友人・知人からの紹介 ⑤その他

Q2 「健康住宅」のイメージは?

Q3 いちばん印象に残った記事は? (番号をご記入ください)

- ①表紙 ②P1. はじめのSAiN ③P2. 目次 ④P3・4. [特集]自然を感じ、自然に学び、自然を楽しむ暮らし ⑤P5・6・7・8. 全国体感録(大分県T様邸) ⑥P9・10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ ⑦P11・12・13. おもやの食卓 ⑧P14. SAiNエッセイ ⑨P15. 「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない? ⑩P16. KAIKENブランド ⑪P17. こだわりプレゼント ⑫P17. 編集ほのぼの後記 ⑬裏表紙 ⑭その他()

Q4 役に立つと思われる記事はどれですか? (「Q3」の番号よりお選びください)

Q5 今後取り上げてほしいテーマ

Q6 『SAiN』へのご意見・ご感想

Q7 ご希望のプレゼント番号とプレゼント名(第1・第2希望まで)

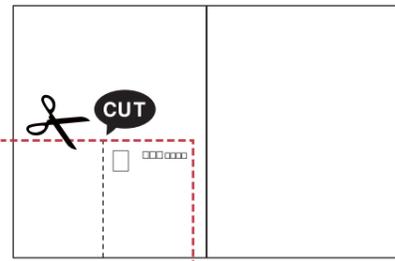
●ハガキ応募先 〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション(株)『SAiN』秋号vol.70 プレゼント係
●WEB応募先アドレス *スマートフォンは右のバーコードから
https://fkfb.f.msgs.jp/webapp/form/21221_fkfb_2/index.do
※ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



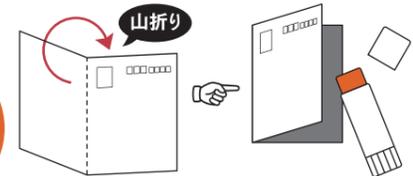
ご応募締切
2021年
11月14日
当日消印
有効

アンケート専用ハガキの使い方

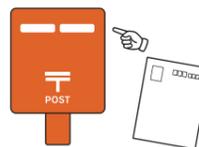
1 ハガキにご記入いただいた後、切り取り線に合わせて、ハガキを切り取ります。



2 切り取ったハガキを山折りにし、中面にのりをつけ、貼り合わせます。



3 記入漏れがないか確認いただき、郵便ポストへ投函ください。



こだわり ✕ プレゼント

※ご応募締切 2021年11月14日(日)



音響熟成木材手づくり家具の中でも人気の高い、テーブルと椅子のセット。使い込むほど木肌がなめらかになり、美しいツヤも出て、時とともに愛着が増していきます。写真のデザインで、寸法調整につきましてはご対応させていただきます。※当選者決定後の製作となります

特製和紙シートを組み立てると、桜の花びらが立体的にうきあがる素敵なインテリア照明器具「コハルライト」。さくら色と電球色に切替でき、2つの違う雰囲気を楽しめます。このコハルライトと音響熟成木材の手づくりスタンドをセットにした特別コラボアイテムです。

特別な年にだけ作られる、オーストリア・クレムスターのデザートワイン。淡くゴールドを帯びて輝くイエローの色。華やかで甘い気味が漂う、熟してとろけそうな果実の香り。そして、幸福な余韻を長く残す、上品で繊細な甘口の味わいがお楽しみいただけます。

ヘルシーで体に負担をかけないお菓子が評判の福岡のヴィーガン・スイーツカフェ「リーバリー」。白砂糖、卵、乳製品などを使わず、メープルシロップやオーガニック食材などのピュアでクリーンな素材を使った、奥深い味わいのクッキー詰め合わせです。

ご当選おめでとうございます! 2021年 夏号(69号)プレゼント当選の皆様

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| ①音響熟成木材手づくりテーブルセット
山口ひろみ様 | ③オーガニックワイン
田中奈歩様 坂下ゆかり様 白土文子様 |
| ②音響熟成木材×コハルライト コラボライト
岡元一也様 山本修大様 | ④ヴィーガンクッキー詰め合わせ
山城愛子様 渋谷佐代子様 佐久本功様
森高有理様 藤島三奈子様 塚本和恵様 |

今号のプレゼントは左ページのアンケートにお答え頂きハガキ・WEBでご応募ください
*WEBサイトプレゼントご応募アドレス
https://fkfb.f.msgs.jp/webapp/form/21221_fkfb_2/index.do

右のバーコードからお申し込みフォームへアクセスできます



フリガナ _____ 生年月日 年 月 日

お名前 _____ 性別 (男性 ・ 女性)

ご住所 〒 _____

お電話 _____

Eメール _____ メールマガジン配信 希望 希望しない

ご職業 会社員・公務員・自営業・学生・主婦・その他 _____

『SAiN』を知ったきっかけは? (番号を○でお困みください)

① セミナー ② 見学会・展示会 ③ DM ④ 友人・知人からの紹介 ⑤ その他()

「健康住宅」のイメージは? _____

いちばん印象に残った記事は? (番号を○でお困みください)

①表紙 ②P1. はじめのSAiN ③P2. 目次 ④P3・4. [特集]自然を感じ、自然に学び、自然を楽しむ暮らし ⑤P5・6・7・8. 全国体感録(大分県T様邸) ⑥P9・10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ ⑦P11・12・13. おもやの食卓 ⑧P14. SAiNエッセイ ⑨P15. 「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない? ⑩P16. KAIKENブランド ⑪P17. こだわりプレゼント ⑫P17. 編集ほのぼの後記 ⑬裏表紙 ⑭その他()

役立つと思われる記事は? 上の質問の回答番号よりお選びください < >

今後取り上げてほしいテーマ _____

『SAiN』へのご意見・ご感想 _____

ご希望プレゼント番号と 第1希望 _____

プレゼント名をご記入ください 第2希望 _____

※アンケートにご協力ありがとうございました。ご当選者様の発表は発送をもって代えさせていただきます。

郵便はがき

料金受取人払郵便

城南局 承認

201

差出有効期間 令和2年4月1日から令和4年3月31日まで <切手不要>

福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション(株)

『SAiN』秋号vol.70 プレゼント係



ご愛読頂きましてありがとうございます。
アンケートにご記入いただきましてご応募ください。

この『SAiN』の裏表紙に記載されている
正規取扱店名を下記にご記入ください

※お預かりした個人情報は、カイケンコーポレーション(株)と正規取扱店からのイベントや見学会のご案内、本やプレゼント発送、アンケート集計以外には利用いたしません。尚、お客様の個人情報は厳重に管理し、第三者に譲渡することはありません。

編集ほのぼの後記

おかげさまを持ちまして、無事に70号を
発刊することができました。
2004年の6月に第1号が発刊され
てからもうすぐ18年。いよいよ20周年も
目の前に見えてきた感じです。
2024年の81号からその周年にあ
たります。
特に具体的なことは決まっています
が、アンバーサリー号として、特別な誌
面にできればいいなあと思っています。

チロクロ日記

少し季節は通り、春ごろに大きなタケノ
コをいただきました。
写真は興味津々なチロロちゃん
と遠慮がちに距離を取るクロロちゃんです。

そんな2匹の様子をうかがうと、やっぱ
り性格が違うんだなあと改めて感じさ
せられます。
これからはチロクロともども、SAiN
をどうぞ宜しくお願いいたします!
それではまた!

SAiN 編集部 浦上日章

「空気がうまい家」

KAIKEN CORPORATION

0120-874-814

カイケンコーポレーション株式会社

お問い合わせはフリーダイヤルでお気軽に (9:00~17:00 ※土日祝/休)

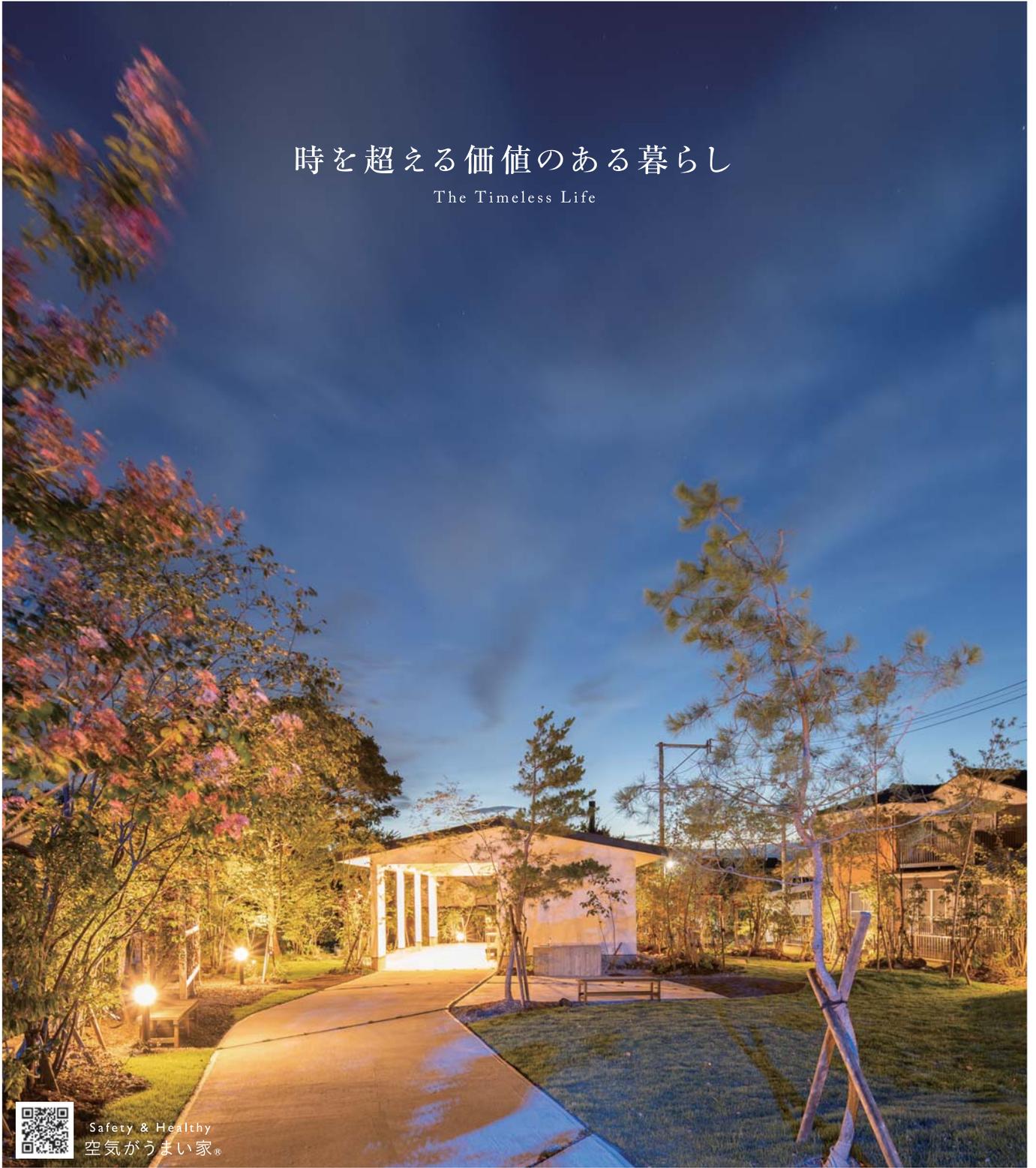
●本社/〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
●電話/092(874)6110 ●FAX/092(874)6113

●最新情報はWEBサイトでどうぞ <https://www.e-kaiken.com> カイケンコーポレーション

●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ビューアケアウォール」「清活量」はカイケンコーポレーション株式会社の登録商標です。●商標登録「空気がうまい家」登録第5700454号取得/「音響熟成木材」登録第4739348号取得/「幻の漆喰」登録第4739347号取得/「幻の漆喰ビューアケアウォール」登録第5672190号取得/「清活量」登録第4827042号取得 ●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ビューアケアウォール」「清活量」は正規取扱店でのみお取り扱いしています。類似品にご注意ください。お取扱店等にはWEBサイトでお確かめいただけます。

時を超える価値のある暮らし

The Timeless Life



Safety & Healthy
空気がうまい家®

SAIN 2021 AUTUMN ISSUE vol.70
© KAIKEN Co. All Rights Reserved.

発行●カイケンコーポレーション株式会社 〒八二四〇一七一福岡市早良区野芥二の二七の五
【季刊】年4回3月6月9月12月発行 ※無断転載・複製を禁じます

お問い合わせは●カイケンコーポレーション健康自然建材 正規取扱店